

ふくやま



平成30年
2018

1

January

No.1058

特集

枝広市長新春インタビュー

知ってほしい 最近の福山……4 福山市の学校給食 …………… 5
マイナンバーカードの新しい使い方……6 (仮称)ふくやまローズ国際音楽祭… 7

福山ブランド
認定品などが当たる

詳しくは
裏表紙に掲載

お年玉付き
アンケートを行います



みんなの応募
待ってるワン♪

動物愛護センターデモンストレーション犬 ゆきちゃん



特集

枝広市長新春インタビュー

福山らしい魅力の発現へ

2018年の年頭にあたり、枝広市長に昨年を振り返っての感想と今後の市政運営について聞きました。インタビューは、福山出身で広報テレビ番組「びんご姫のふくやま」福「さがし」でもおなじみの広島テレビ放送の糸永直美さんです。

昨年を振り返って

糸永 明けましておめでとうございます。市長に就任されて1年余りが経ちました。まずは、皆さんに年始のごあいさつをお願いいたします。

市長 明けましておめでとうでございます。市民の皆さまにとって今年が素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。また、昨年は、市政運営へのご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

私は、市長に就任して以来「スピード感・情報発信・連携」を市政運営の基本に位置付け、市民の皆さまとの対話を大切にして現場主義を実践してきました。

現場主義の取り組みの一つとして、市民の皆さまの声を聞く「市長と車座トーク」に取り組んできました。この車座トークは、市民の皆さまとの相互理解を深めるいいきっかけになると考えていますので、できるだけ早く、そして多くの学区で地域課題の解決に生かしていきたいと考えています。

夢・希望の実現

糸永 市民の皆さんと一緒にまちづくりを考える取り組みといえば、福山の未来を考える100人委員会ですが、立ち上げから間もなく1年ですね。

市長 はい。昨年2月に福山の未来に夢やアイデアをもつ幅広い世代の市民が集まり、30年後の福山の未来図を描いていく「ふくやま未来づくり100人委員会」を立ち上げることができました。

100人委員会の取り組みは委員だけではなく、多くの市民や小中学生の意見・アイデアも取り入れながら、まさに「オール福山」で

議論が進められています。どのような福山の未来図が描かれていくのか、私も期待をしています。2月には未来図が完成する予定ですので、市民の皆さまにも楽しみにしていただきたいと思っています。

市政の変化

糸永 福山ネウボラの相談窓口「あのね」の開設や情報発信など、さまざまな取り組みがありますが、このあたりの成果はどのようにお考えでしょうか。

市長 昨年6月に、妊娠・出産・子育てまでを切れ目なくサポートする福山ネウボラの相談窓口「あのね」を、市内の12カ所に開設しました。これまでに多くの人が相談に訪れており、好調な滑り出しができたと考えています。

また、情報発信ですが、情報発信のタイミングや手段などを見直し、福山の魅力や市政の情報を積

極的・効果的に発信しました。市民の皆さんには、市政の変化を感じとっていただけたのではないかと思います。

今後の市政運営

糸永 今後取り組んでいく主な市政運営についてお聞かせください。

市長 まず、福山駅前の再生です。駅前のめざすべきまちの姿を描く福山駅前再生ビジョンの策定を進めています。専門家の意見に加え、市民や関係地権者、そして事業者のご意見も伺いながら、3月末までにはこのビジョンを策定し、駅前再生を進めていきます。

また、本市の将来を見据え、産業や芸術文化、そしてスポーツの核となる備後の中核都市として、拠点機能のさらなる強化にも努めていきます。まず、芸術文化ですが、今年の5月に（仮称）ふくやま

ローズ国際音楽祭を中国地方最大の規模を誇るリーデンローズを中心に開催することいたしました。リーデンローズは音響効果も素晴らしいです。

子育てしやすいまちへ

糸永 市民の皆さんの関心が高い子育てや教育環境については、どのようにお考えでしょうか。

市長 子育てはとても大切な行政分野の一つです。昨年オープンした福山ネウボラの相談窓口「あのね」が、子育ての悩みに応える場として定着していくよう、さらに取り組んでいきます。

また、教育環境についてですが、昨年に「福山市立中学校完全給食実施方針」を策定しました。この方針に基づいて、2020年までに市立中学校全校で完全給食を実施いたします。栄養バランスがとれた安心・安全で温かい給食を生徒の皆さんに提供していきます。

文化・歴史の継承

糸永 福山城築城400年が4年

後ですが、文化や歴史を生かしたまちづくりについてお聞かせください。

市長 福山城は市民共有の大切な大切な宝物だと考えています。この福山城を活用するため、3月末までに城跡の保存活用計画を策定し、新しい都市空間づくりにつなげていきます。

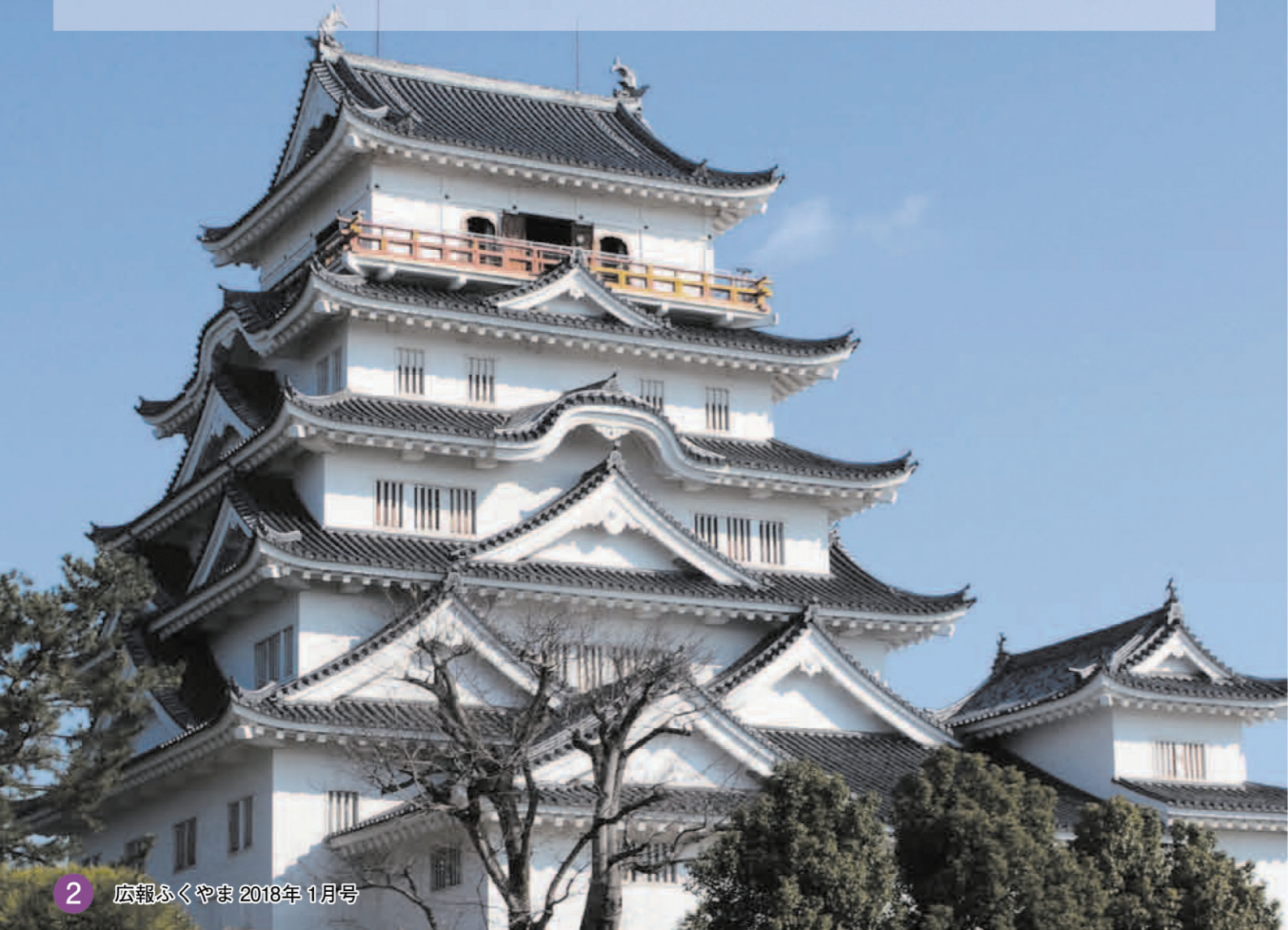
また昨年、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、朝鮮通信使に関する史料がユネスコ記憶遺産に登録された瀬の浦の活用も含め、文化や歴史の観点から福山全体を盛り上げていきたいと考えています。

皆さんへメッセージ

糸永 最後に、枝広市長から皆さんへメッセージをお願いします。

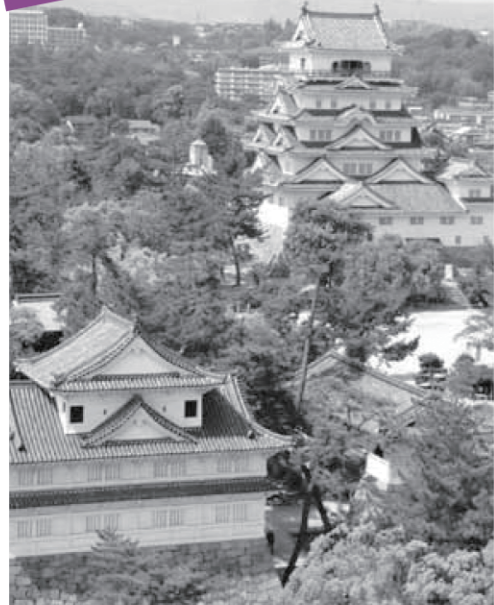
市長 人口減少は全国的な傾向ですが、本市においても避けて通れない大きな社会的な課題です。そうした中にあってもふるさと福山が輝きを放ち続けるためには、従来の手法にとらわれることなく、果敢に課題に立ち向かう勇気を私たちがもたなければなりません。

今後さまざまな取り組みに挑戦していきたいと考えています。市民の皆さまのお力添えをいただきますよう、お願いいたします。



時 とき 所 ところ 内 内容 対 対象 定 定員
料 料金 申 申し込み 問 問い合わせ HP ホームページ

市長がお知らせします



知ってほしい 最近の福山

枝広市長は、最近の市政の動向および新年度に向けた取り組みについて12月1日の定例市議会で説明しました。全文は、市「ようこそ市長室へ」に掲載しています。

企画政策課(☎928-1012)

■**連携中核都市圏の取り組み**
全国の同種の産業支援拠点としては初めて広域を対象とする「福山ビジネスサポートセンターFukuBiz」が12月6日に開設1周年を迎えます。事業者の満足度も非常に高く、新商品開発などに繋がります。一定の成果が出つつあります。引き続き、広域連携による産業施策のモ

■**福山城築城400年の取り組み**
キャッチフレーズを「城のあるまち 福のまち」に決定し、ロゴマークを決める市民投票を行う予定です。現在、天守閣などの耐震化を始め、福山城の保存活用計画も策定中です。皆さまと共に、築城400年記念事業に取り組み、その歴史を福山の誇りとして後世に伝えていきたいと考えています。

■**2つ目の柱 「人口減少対策」**
若者、特に20代から30代半ばまでの女性が転出超過となっており、出生数の低下など人口減少に拍車がかかるものと危惧しています。そのた



■**5つの挑戦の加速**
福山北産業団地について、企業の誘致や雇用促進などに繋がるよう第2期事業に着手します。官民一体となって企業が求めるグローバル人材の育成にも取り組めます。また、中学校給食については、2020年9月までの完全実施に向けて整備を加速していきます。



■**これら3つの柱の推進にあたって**
企業などにおいて現役で活躍している高度専門人材を活用し、また、包括協定を結んでいる民間企業の助言を得る中で施策立案に取り組み、「活力と魅力に満ちた輝く都市」の実現をめざしていきます。

小企業がさらに成長し、産業の拠点性が高まるよう、県と連携してICT人材の育成・確保に力を入れていきたいと考えています。

■**3つ目の柱 「備後圏域における拠点機能の強化」**
リーデンローズを中核拠点に、来年度「仮称」ふくやまローズ国際音楽祭を開催します。2年後には新総合体育館も完成します。こうした取り組みを通じ、芸術文化やスポーツの拠点を高めていきます。また、本市には全国的にも高い技術をもった中小企業が数多く拠点を構えています。地元中

最近の市政の動向について

■**中心市街地の活性化**
福山駅前再生協議会において、駅前再生ビジョンの骨子を示し、ビジネスの拠点づくりや新しいライフスタイルの実現など6つの方向性を打ち出しました。1月にはパブリックコメントを実施し、2月には実際の不動産を活用した実践的な講座「リノベーションスクール」を行う予定です。今後も官民が協力し、活力ある駅前再生に取り組んでいきたいと考えています。

デルとなるよう、圏域内の中小企業などの活力向上に取り組んでいきます。

め、少子化対策や若者の地元定着の推進、UIターン対策などに本格的に取り組めます。

ふくやま2017年を振り返る ~こんなことがあった1年でした~



1月

- 8日 福山消防出初式
- 9日 成人式、新成人4,680人

2月

- 9日 第1回福山市情報発信戦略会議開催
- 12日 第10回福山知っとる検定
- 16日 楽天(株)と「連携協力に関する協定」を締結
- 23日 第1回福山城築城400年事業推進企画委員会開催
- 25日 ふくやま未来づくり100人委員会スタート



3月

- 1日 第1回福山駅前再生協議会(産学官民の専門家で構成)を開催
- 11日 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流福山大会(~12)
- 19日 ふくやまマラソン
- 22日 観光アプリ「びんGO!福山」運用開始
- 23日 「福山市史 原始から現代まで」発刊。福山市史全8冊が完成
- 24日 福山道路整備促進期成同盟会(市長・市議会議長・福山商工会議所会頭の3者で構成)発足

4月

- 6日 備後圏域連携協議会と日本郵便(株)中国支社が「地域における協力に関する協定」を締結
- 11日 福山駅構内のインフォメーションディスプレイ「ローズビジョン」運用開始
- 15日 市政情報を発信するコーナーをフジグラン神辺に開設
- 19日 すくすく子育て座談会スタート

5月

- 3日 福山・鞆の浦観光鯛網(~28)
- 13日 戦没者追悼式
- 20日 福山ばら祭2017(~21)
- 21日 歌手の手嶌葵さんに「100万本のばらのまち福山応援大使」を委嘱
- 22日 女子学生を対象に福山の企業情報などを発信する「LADY WORK CAFE」がオープン
- 23日 福山市名誉市民 小松安弘さん逝去
- 27日 福山鞆の浦弁天島花火大会

6月

- 14日 福山ネウボラ相談窓口「あのね」を市内12カ所に開設



7月

- 10日 市政懇談会(~26)

8月

- 8日 市民平和のつどい・市民平和大会、原爆・福山戦災死没者慰霊式
- 10日 第5世代移動通信システム(5G)を見据えてKDDI(株)と全国初の「基地局収容型LED街路灯の実証実験に向けた覚書」を締結
- 13日 福山夏まつり2017(~15)
- 29日 東京オリンピックに向けたメキシコオリンピックチームの県内での事前合宿が決定。福山市は競泳、ダイビングなど8種目を受け入れ

9月

- 1日 福山大学・福山平成大学と「期日前投票所の設置等に関する協定」を締結
- 18日 敬老の日。市内の100歳以上の人は373人
- 21日 杉野昌平副市長就任
- 27日 福山城築城400年記念事業実行委員会設立
- 28日 世界バラ会連合地域大会福山大会準備委員会設立
- 30日 福山市出身でラジオDJ・俳優の小林克也さんに「福山ふるさと大使」を委嘱

10月

- 2日 福山アンパサダー活動開始
- 22日 子ども議会開催
- 29日 高校生議会開催
- 30日 (仮称)市総合体育館起工式
- 31日 福山城築城400年記念事業のキャッチフレーズが「城のあるまち 福のまち」に決定
- 31日 福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係史料を含む「朝鮮通信使に関する記録」が「ユネスコ記憶遺産」に登録

11月

- 15日 (株)日本政策投資銀行と「地域政策HOME DOCTOR(試行版)の実施に関する協定」を締結
- 17日 福山藩15代藩主・阿部正方の墓所を市史跡に指定
- 26日 全市一斉総合防災訓練
- 28日 福山市鞆町伝統的建造物群保存地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定

12月

- 9日 福山明るいまちづくり推進大会・市民憲章運動推進全国大会福山大会
- 14日 アテネ五輪マラソン7位入賞の坂本直子さんに「メキシコオリンピックチーム福山キャンプ応援サポーター」を委嘱
- 16日 ルクシアタふくやま2017(~25)
- 20日 福山市こころをつなぐ手話言語条例制定(県内初)
- 24日 北京教育交流訪問団派遣(~28)
- 27日 北京教育交流に係る調印式